学校番号	1015

平成 31 年度　地理・歴史科

教科	地理・歴史	科目	日本史Ｂ甲	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版）						
副教材等	最新日本史図表　新版二訂（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史 B 甲では日本の歴史の古代から幕藩体制の確立までを中学校の時よりも深く勉強していきます。多くの歴史用語が出てきますが、まずは歴史の流れをつかんでください。その上で勉強していくとスムーズに勉強できると思います。しかし、多くの歴史用語が出てくるのは確かなので、毎日復習して知識を定着させることが大切です。提出物は期限までに出し、定期考査も計画的に勉強しましょう。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連づけて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・討論・発表	・学習状況の観察 ・定期テスト （論述問題など） ・レポート課題 ・討論・発表	・学習状況の観察 ・定期テスト （資料の読み取り） ・レポート課題 ・史資料の読み取り	・学習状況の観察 ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期中間</td><td rowspan="1">歴史へのアプローチ</td><td>歴史と資料
大仏造立をめぐる歴史資料</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>a:歴史への関心を高めるとともに、歴史資料の特性や文化財保護の重要性に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。
b:遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
c:遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
d:大仏造立の資料に基づいて歴史を考察する基本的な方法や文化財保護の重要性について理解している。</td><td rowspan="3">・学習状況の観察
・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等
・定期テスト</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日本文化のあけぼの</td><td>第Ⅰ部　原始・古代
1. 文化のはじまり</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="2">a:原始社会の展開や古代国家の形成と社会、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。
b:原始社会の展開や古代国家の形成と社会、文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、東アジア世界との関係と関連づけて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
c:原始社会の展開や古代国家の形成と社会、文化の特色に</td></tr>
<tr><td>2. 農耕社会の成立</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

		3. 古墳とヤマト政権		○	○	○	関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:原始社会の展開や古代国家の形成と社会、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連づけて理解し、その知識を身につけている。	
	律令国家の形成	1. 飛鳥の朝廷		○	○	○	a:古代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:古代国家の展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、隋・唐など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:古代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:古代国家の展開、文化の特色とその背景と社会についての基本的な事柄を、隋・唐など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
		2. 律令国家への道		○		○		
		3. 平城京の時代		○	○	○		
		4. 天平文化	○			○		
前期期末		5. 平安王朝の形成		○		○		・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
	貴族政治と国風文化	1. 摂関政治		○		○	a:古代国家の推移と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽から課題を見いだ	
		2. 国風文化	○		○	○		

		3. 地方政治の展開と武士		○		○	し、東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:古代国家の推移と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
	中世社会の成立	第Ⅱ部　中世 1. 院政と平氏の台頭			○	○	a:中世国家の形成過程・成立と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:中世国家の形成過程・成立や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:中世国家の形成過程・成立と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:中世国家の形成過程・成立や社会の仕組み、文化の特色とその成立過程についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
		2. 鎌倉幕府の成立		○		○		
		3. 武士の社会	○			○		
後期中間		4. 蒙古襲来と幕府の衰退			○	○		・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノート、プリント、レポート等 ・定期テスト
		5. 鎌倉文化	○		○	○		
	武家社会の成長	1. 室町幕府の成立		○		○	a:中世国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:中世国家の展開や社会の仕	

		2. 幕府の衰退と庶民の台頭		○		○	組み、文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、元・明や日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:中世国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:中世国家の展開と社会の仕組み、文化の特色とその成立過程についての基本的な事柄を、元・明や日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	
		3. 室町文化	○		○	○		
		4. 戦国大名の登場	○		○	○		
	歴史へのアプローチ	歴史の解釈 中世の商品流通	○	○	○	○	a:歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を既習知識を組み合わせながら多面的・多角的に考察し、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈して、その過程や結果を適切に表現している。 c:「兵庫北関入船納帳」を含む諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:歴史の展開における諸事象の意味や意義を理解し、その知識を身につけている。	
後期期末	幕藩体制の確立	第Ⅲ部　近世 1. 織豊政権	○	○		○	a:近世国家の形成過程や幕藩体制の成立、社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	・学習状況の観察 ・課題や提出物の状況、ノー

		2. 桃山文化			○	○	b:近世国家の形成過程や幕藩体制の成立、その特色や社会の仕組みから課題を見いだし、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:近代国家の形成過程や幕藩体制の成立、社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:近代国家の成立過程や幕藩体制の成立、その特色や社会の仕組みについての基本的な事柄を、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ト、プリント、レポート等 ・定期テスト
		3. 幕藩体制の成立		○		○		
		4. 幕藩社会の構造		○	○	○		

	歴史へのアプローチ	歴史と説明 朝鮮通信使	○	○	○	○	a:歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:朝鮮通信使を含む歴史的事象をめぐる複数の歴史的解釈について多面的・多角的に考察するとともに、それぞれの根拠や理論を踏まえて公正に判断して、筋道を立てて考えを説明している。 c:朝鮮通信使を含む歴史的事象をめぐる複数の歴史的解釈に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付き、それぞれの根拠や論理を踏まえて筋道立てて考えを説明することの意義を理解し、その知識を身につけている。	
	幕藩体制の展開	1. 幕政の安定		○		○	a:幕藩体制の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:幕藩体制の展開とその特色、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:幕藩体制の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択	
		2. 経済の発展		○		○		

		3. 元禄文化			○	○	して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:幕藩体制の展開とその特色、近世の都市や農村における生活や文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身 につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。